

# マイスターだより

川西町立小松小学校  
令和8年6月11日(木) No.8  
文責：情野 夏美

## 教育課程調査官 加固 希支男先生に来ていただきました！

本校を会場に「算数科校内研修会」が行われました。午前中の授業研究、加固先生による出前授業、ご講演と大変学びが多い1日でした。先生方は、今日の研修の内容をどのように受け止められ、そのように感じられたでしょうか。今後の授業の力になれば幸いです。様々な場面でたくさんのご協力をいただきました。大変ありがとうございました。お疲れさまでした。

ここでは、私の視点で研修を通して勉強になったことや内容をまとめました。ご一読いただけますと幸いです。3年2組と6年2組の授業についての詳しい内容と加固先生からのご指導内容については、授業研だよりでお伝えします。そちらもあわせてお読みください。

### 1、出前授業について

- 子どもたちの興味を一気に引き出されていた。教材に面白さ、不思議さがあった。
- 加固先生の本にも書いてあったように、学級経営＝授業であることがよく分かった。褒める、正す。そこに、ユーモが入る。
- 大事なところは、しっかりと聞かせて落とし込む。
- キーワードとなる「変わらない数」「変わる数」を全員に伝わるように、注目させて、丁寧に話されていた。
- 子どもの発言一つ一つを活かした授業展開であった。
- 加固先生の発問が見方・考え方の核心にせまる発問であった。
- 児童に数字を言葉で説明させていた。たとえ数字が変わっても、解けるようになる。
- 指導案は、単元の評価規準をゴールとして、逆算したものとなっている。単元の最終的な子どもの姿を教師がイメージし、どのような方法や学習形態で、目指す姿に近づけていくかが、よくわかる指導案となっている。

※先日1組で、加固先生のまねをさせていただき同じ授業を行ってみました。が、加固先生のように子どもたちを上手く乗らせることはできず……。しかし、調査官の授業をまねできる貴重な経験ができました。加固先生とお話させていただいて、加固先生は「うまくいかなかった」とおっしゃっていましたが、導入時から子どもたちの目が輝いており、いつもの授業では発しない子も発言していて驚きました。子どもたち一人一人の個性を理解しながら、一人一人を輝かせる声かけや発問がたくさんあり、大変勉強になりました。



## 2、ご講演について（情野のメモも回覧します）

「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した算数科の『深い学び』」

- ・「深い学び」とは・・・知識を相互に関連付けてより深く理解すること。  
そのため・・・①見方・考え方 ②教科を学ぶ意義 を大切にする。  
＝単元を通してどんな力をつけていくか。単元全体でどうなってほしいか。  
1時間単位ではいけない。

授業改善の視点でもある（発問、単元構成など。）

- ・算数が苦手＝暗記しなければいけない。算数が得意＝暗記力がある。  
→こんな風ではいけない。

### ・学習を関連付けた教材研究

学年を超えた系統性を意識した教材研究

↑

単元を通した教材研究

↑

1単位時間

まずは！！でも、いつでも系統性を意識する！！

- ・精緻化・・・情報を加えて深く、多角的に理解する。
- ・有意義受容学習・・・人は新しい情報を既有知識の枠組みに包摂（一つの事柄をより大きな範囲の事柄の中にとりこむこと。）しながら、理解している。
- ・高次の資質能力  
＝深い学びを実現する単元づくりのイメージを教師が持てるようにする役割。  
①統合的な理解＝「結局～ってことだね。」  
②総合的な発揮＝「いつも～に着目して、～に基づいて考えればいいんだね。」  
↓  
単元目標に基づいて、単元を構成する。（一つの事例を使って、一般化する。）  
既習事項に落とし込めば、問題は解決できる。（具体的に行っていく。）
- ・毎時間の授業が単元目標に向かっているか。  
「問題は変わるけれど、結局は～が使えるよね！」
- ・単元の導入は教師の介入度が増す。→どんどん減らしていく！！

## 3、出前授業と講演を受けて大切だと感じたこと

- ・加固先生の何冊かある本にも何度も書いてありましたが、単元を通した教材研究。  
できれば縦（系統性）、横（様々な教科書会社）も。  
1時間単位では、ぶつ切れになってしまう。  
学習と学習をつなぐ。  
既習をいかし、未習へとつなげる。
- ・常に、単元目標に立ち返り、単元目標をゴールとした授業を行っていくこと。
- ・その授業の見方・考え方（加固先生の言葉でいうと「着目ポイント」）を児童にも理解させる。
- ・子どもの気づきや発言を拾って、広げて、深めていく。
- ・児童同士が自由に考えを伝え合う時間を、自由に設ける。
- ・次期学習指導要領が出る前でも、今からでも授業は変えられる！！
- ・子どもたちがいきいきと授業にむかえる、愉しめる授業にするには、教材研究も大切だし、教師の心持ちも大切。一緒に愉しむ。